

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、午前9時から浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。  
 検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で30cells/ml、シャットネラ属が最高で8cells/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高で22,500cells/ml確認されました。  
ヘテロシグマ・アカシオは着色部で漁業被害が想定される密度を超えていました。  
また、湾中央から湾奥にかけて5～10m層が貧酸素状態となっていました。

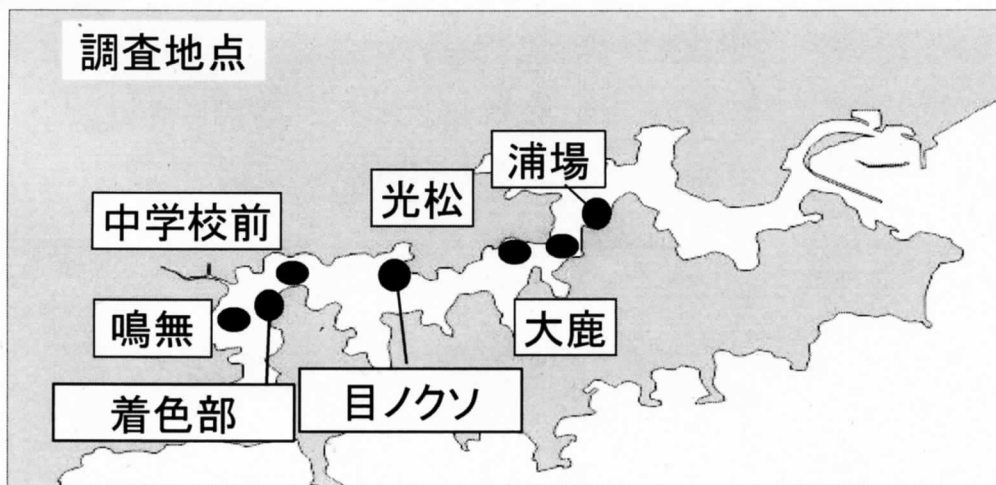
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属	ヘテロシグマ・アカシオ	タカヤマ属
鳴無	2m	12	8	150	0
中学前	2m	30	0	250	0
着色部	0m	0	0	22,500	0
目ノクソ	2m	5	0	600	20
光松	2m	0	0	2,200	150
大鹿	1.5m	0	0	450	1,200
浦場	1.5m	0	0	0	4,000

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ：  
数百～数千cells/ml（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属：  
10～100cells/ml（魚類へい死）
- ・ヘテロシグマ・アカシオ：  
50,000～cells/ml（魚類のへい死）



「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>